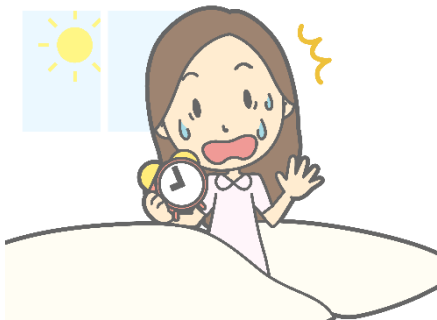


一歩

遅刻はダメ

昨日、生徒朝会がありました。最後に校長先生の話がありました。みんな早く体育館に来て、整列がすばらしいと褒めていただきました。しかし、1名遅刻者がいました。校長先生から「遅刻はダメ」と言われました。

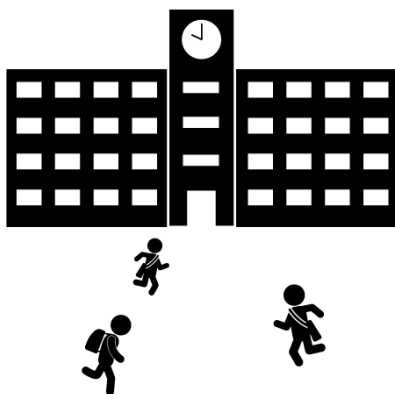


今の大形中学校が素晴らしくなってきた一つに、「みんなでやり遂げる」姿があります。以前も、ほとんどの生徒は時間を守り、学習もがんばっていましたが、一部の数人の生徒が時間を守れなかったり、学習に向かう態度・姿勢がよくなかったりしました。そういった一部のようすから、周りの生徒も「これくらいならいいだろう」「ちょっとくらいいいだろう」「自分ばかりでない」という自分より下を見て、最低にならなければいいという意識になってしまうことがあります。また、その一部のよくない振る舞いの生徒の印象が、まるで大形中学校の姿全部のように伝えられたりすることもあります。それが大形中学校の生徒の耳に届けば、自校を誇りに思ったり、母校を愛する気持ちが薄れたりすることにもつながりかねません。

修学旅行では、他校の先生が新潟空港での出発のために集まった大形中学校の3年生のみなさんの姿を見て、「素晴らしかった」「きれいに並び、静かにできている整然とした姿」に感動したと話していました。空港で1学級くらいの小規模の中学校が隣にいたのに気づいていた人もいることでしょう。その学校の先生は、自分の学校のような小さな学校ならわかるが、大形中学校くらい大人数の学校・学年であるような整然とした集団の姿が素晴らしいというのです。



このように言うにだけるのはありがたいことです。しかし、みなさんは、この言葉をいただくために自分の行動を決定しているのではないと思います。あなた自身が、「自分のなりたい姿」や「ありたい姿」を目指して、やるべきことをやっていく。その積み重ねだと思います。



生徒朝会での遅刻者1名は3年生です。遅刻しているようではまだまだです。他のすべての生徒は遅刻せず、がんばっているのです。遅刻して、「私はがんばっています」と言っても、それは他の遅刻せずがんばっている生徒から見たら、もう少しがんばってほしいと思われることでしょう。がんばる気持ちがあるなら、今後「絶対に遅刻しない」よう自分をコントロールする力をつけなければいけません。

今日、朝の遅刻者が2名いました。2名とも3年生です。話を聞いた翌日の遅刻、ダメダメです。話の意味や気持ちが伝わっていないのでしょうか、残念です。

ネット依存

メディコンウイーク

昨日の生徒朝会で、保健委員長から「メディコンウイーク」について話がありました。保健委員長は、先日 25 日にWHO(世界保健機関)は発表したゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を疾病として正式に認定したことを全校生徒に伝えてくれました。

メディコンウイークは、生徒自身がメディア(スマホ、パソコン、テレビなど)を自分でコントロールして学習に集中しようとする取組です。ゲームはやっている時は楽しいでしょうが、ゲームに支配されるようになってはいけません。ゲームをする、しないのコントロールする力を身につけましょう。

昨日からチャレンジカードの記入が始まりました。みなさんは、メディアコントロールがうまくでき、テスト勉強に集中して取り組めるでしょうか。チャレンジは、3つのコースから選択します。ネット・ゲーム・スマホをいっさい断つ「仙人コース」、一日 60 分以内にする「修行コース」、自分で一日の使用時間を決める「努力コース」の 3 つのコースから自分のチャレンジするコースを選びます。



中庭DEランチ

先週行われた中庭 DE ランチ。ついに本当(?)に、「中庭」でランチができました。当日は非常に暑く、生徒のみなさんの口からも「暑い」という悲鳴のような声が聞こえるくらい快晴でした。

3年目にして、中庭でのランチが体験できてよかったですね。

家でおにぎりやおかずを作って、その難しさに気づいたり、保護者からちょっとしたアドバイスももらってそれを実践してみた喜びの声も聞かれました。作るおにぎりの大きさのイメージと、手にご飯の量一つとつてもうまく調節できないのが中学生です。いつもお弁当を作ってくれる保護者への感謝の気持ちを口にする生徒もいました。生徒にとっては、「できる」「それほど難しいことではない」と思っていたことも、やってみると意外と難しかったり、ちょっとしたコツがうまくできるきっかけになったりと、経験の大切さや必要性を実感したようです。最後の中庭 DE ランチは、成功に終わったようです。

